

助成年度：平成 24 年度

〔所属〕 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科

〔役職〕 准教授

〔氏名〕 小林 寛

〔課題〕

温泉地域における地熱エネルギーの利用促進のための法的手法に関する研究

〔内容〕

低炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出をできる限り抑制するためには、地熱、太陽光、風力といった再生可能エネルギーの利用を促進しなければならない。その内、地熱は、太陽光や風力と異なり気候の影響を受けにくい安定性のあるエネルギー源である。他方で、温泉地域において地熱エネルギーを得るには泉源を利用することから、温泉法、自然公園法などによる法的規制が適用される。そのため、地熱エネルギーの利用を促進するには、様々な法的な課題を検討する必要がある。そこで本研究は、かかる課題を検討し地熱エネルギーの利用促進を図るための法的手法を探求することを目的とするものである。

本研究の成果として、拙稿「地熱エネルギーの利用促進に係る法的課題～温泉資源の保護との調整的視点に基づく考察」（『地熱技術』83号23頁以下）において研究論文を公表、地熱エネルギーの利用促進に係る法的課題について考察を行った。すなわち、我が国の多くの地熱資源は国立公園・国定公園の特別保護地区・特別地域内に賦存しているため、自然公園法の開発規制が適用される他、温泉法の規制の順守、温泉権に対する適正な考慮が必要となることから、これら自然保護に関する規制および温泉権との調整的視点が重要であることを明らかにし、かかる調整的視点に基づいて地熱エネルギーの利用促進を図る法的手法を考察した。さらに、環境法政策学会の2013年度学術大会（2013年6月15日開催）において、「地熱エネルギーの利用促進に関する法的課題～温泉資源の保護に係る法的規制を中心に～」との題目で研究発表を行った。